

吉野ヶ里町統合庁舎建設基本設計
【概要版】（案）

計画概要	・ ・ ・ ・ ・	P 1
設計方針	・ ・ ・ ・ ・	P 2
配置計画	・ ・ ・ ・ ・	P 3
平面計画	・ ・ ・ ・ ・	P 4
立面計画	・ ・ ・ ・ ・	P 6
断面計画	・ ・ ・ ・ ・	P 7

〔 敷地 〕		
所在地	住居表示	
	地名地番	佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田1261-2,1262-2,1278-3,1278-4 (拡張予定地) 庁舎用駐車場予定
地目	宅地 (拡張予定地：田)	
敷地面積	3,701.71㎡ (拡張予定地：5,770.92㎡)	
用途地域	都市計画区域内 非線引都市計画区域 用途白地地域	
防火地域	指定なし	
その他の地域地区	なし	
建蔽率	60%	
容積率	200%	
道路	東側：町道 鳥ノ隈線 (幅員5.5m)	
	南側：県道 吉野ヶ里公園線 (幅員18.0m)	
日影規制	該当する	
騒音規制	第2種区域 (昼間：60dB以下、朝・夕：50dB以下、夜間：50dB以下)	

建築面積		1,990 ㎡
延床面積		5,544 ㎡
各階床面積	4 階	1,036 ㎡
	3 階	1,115 ㎡
	2 階	1,721 ㎡
	1 階	1,672 ㎡
	合計	5,544 ㎡
構造 / 階数		RC 造 一部 S 造 / 地上 4 階
最高高さ		19.5m
耐震安全性の分類※1		構造体：Ⅱ 類、建築非構造部材：A 類、建築設備：甲類
耐風性能の分類※2		構造体：Ⅱ 類、建築非構造部材：Ⅱ 類、建築設備：Ⅱ 類
駐車台数		39 台 (車椅子用駐車場 1 台・パーキングパーミット 1 台含む)
駐輪台数		5 台

※ 1：耐震安全性の分類は「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準 令和3年版」に準拠します。

※ 2：耐風性能の分類は「官庁施設の基本的性能基準 令和2年版」に準拠します。

年度	令和 5 年度 (2023 年度)			令和 6 年度 (2024 年度)			令和 7 年度 (2025 年度)		
	7	8	9	10	11	12	1	2	3
全 体 工 程									



敷地案内図 S=1/10,000

歴史を継承し 吉野ヶ里の新たな時を刻むシンボルを創造

—原風景のひとつとなる新たなまちの軌跡—

基本計画 基本方針

基本方針1

常に賑わい人が集まる町民の心の拠り所

ここに行けば誰かに会える、仲間ができる場所
誰もがいつでもイベントを開催できる場所
多世代が集まり交流が生まれるきっかけづくりの場所
友だちや家族などの集まりを楽しめる場所

基本方針2

利便性高く、誰もが使いやすい場所

集約化による利便性の向上 / 様々な活動で自由に使える会議室・多目的室
誰もが情報検索できる場所 / 親子で楽しく利用しやすい場所

基本方針3

町民の安全・安心な生活を支える場所

防災拠点としての機能強化 / 避難場所としての充実した設備
災害時のライフラインの確保

基本方針4

人や地球に優しく、持続可能な場所

ユニバーサルデザインやバリアフリーを取り入れた人に優しい空間
省エネルギー化を前提とした環境性能の高い施設
保健・子育て支援機能の一部移転

基本方針5

サービスの効率性・効果を追求した無駄のない施設

空間の多目的利用や効率的な配置計画によるコストの削減
町民ニーズへの効果的、効率的な対応
近隣市町の施設の機能とすみ分けた効果性の高い施設

1
まち

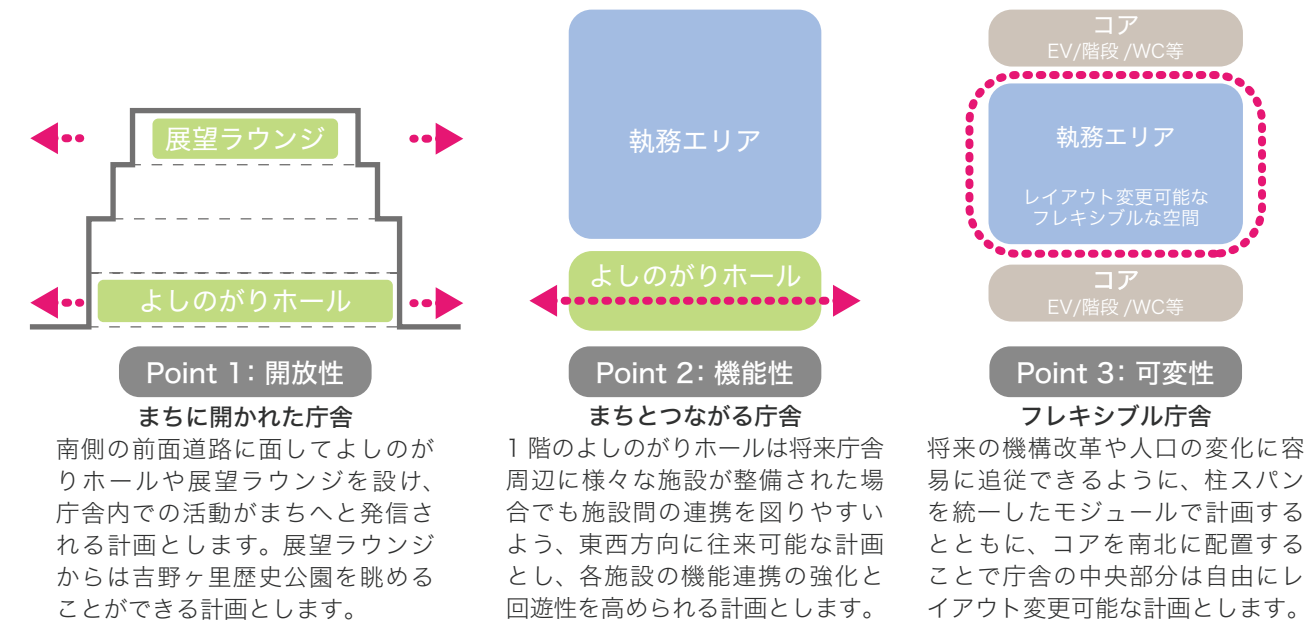
2
歴史

3
自然

設計方針

吉野ヶ里の人とまちをつなぎ まちの成長を促す庁舎

吉野ヶ里の魅力あふれる新たなまちづくりを行う礎として、将来的な周辺施設整備や社会の変化を見据え、様々なニーズに柔軟に対応可能な機能性・可変性・開放性のある庁舎を創造します。



土地の記憶を呼び起こし 町民の郷土愛を育む庁舎

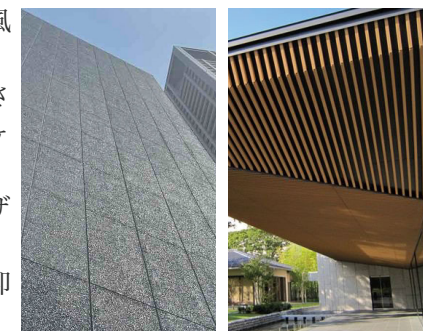
弥生時代から吉野ヶ里の人々が歩んできた歴史の重みを未来へと紡ぎ、新たな歴史を積み重ね、末永く吉野ヶ里の人々に愛され地域に根付く庁舎となるように、外観には吉野ヶ里の歴史に深く関わりのある吉野ヶ里遺跡の主祭殿をモチーフとしたデザインを取り入れます。主祭殿はかつてクニ全体の政事を中心として機能しており、吉野ヶ里の歴史を紡ぐ重要な役割を果たしてきました。主祭殿の特徴である3層構成の高床建物のように積層した形態とし、吉野ヶ里の新たな歴史を刻む庁舎を創造します。



吉野ヶ里歴史公園 主祭殿

緑豊かな自然との融和により原風景のひとつとなる庁舎

計画地は脊振山を背景に、辺り一面には田畑が広がっており牧歌的な風景を形成しております。吉野ヶ里遺跡を望むことができ、緑豊かな自然に囲まれた位置に計画される新庁舎は、伝統的な意匠を現代的な技術で甦らせることで、吉野ヶ里の原風景を想起させる景観を創造します。無機質なマテリアルによって余計なものを削ぎ落とした洗練されたデザインとし、周囲に溶け込む計画とします。積層した形態は吉野ヶ里特有の温暖多雨な気候において、雨掛かりの抑制や直射日光の遮蔽として機能し、施設の長寿命化に寄与します。



中之島美術館

高志の国 文学館

配置計画

- ・庁舎の南側に来庁者駐車場、北側に公用車駐車場を設け、利用者に応じた明快なゾーニング計画とすることで、歩車分離を行い、安心安全な歩行者空間を計画します。
- ・庁舎は極力南側に寄せた計画とし、日影規制を考慮した計画とします。
- ・将来、東側町道の整備に伴い道路が拡幅される場合でも新庁舎に影響を与えることなく対応できるように庁舎を西に寄せた位置に配置します。

歩行者動線計画

- ・来庁者のメインアプローチとなる南側県道に面した位置に来庁者用のメイン出入口を設けます。
- ・メイン出入口に面した位置に車寄せと車椅子用駐車場、パーキングパーミット用駐車場を設け、雨に濡れずに施設内へとアプローチ可能な計画とします。
- ・来庁者動線上は段差のないフラットな仕上とし、安全に来庁者を施設内へと導く計画とします。
- ・職員用通用口は北側と西側に設け来庁者動線と明確に分離するとともに、公用車駐車場に隣接した位置に配置することで効率的な動線計画とします。

車両動線計画

- ・来庁者車両用出入口はメインアプローチとなる南側県道に面した位置に設け、わかりやすくアクセスしやすい計画とします。
- ・公用車用出入口は東側町道に面した位置に設け、来庁者車両動線と明確に分離することで、安全性と交通渋滞の緩和に配慮した計画とします。

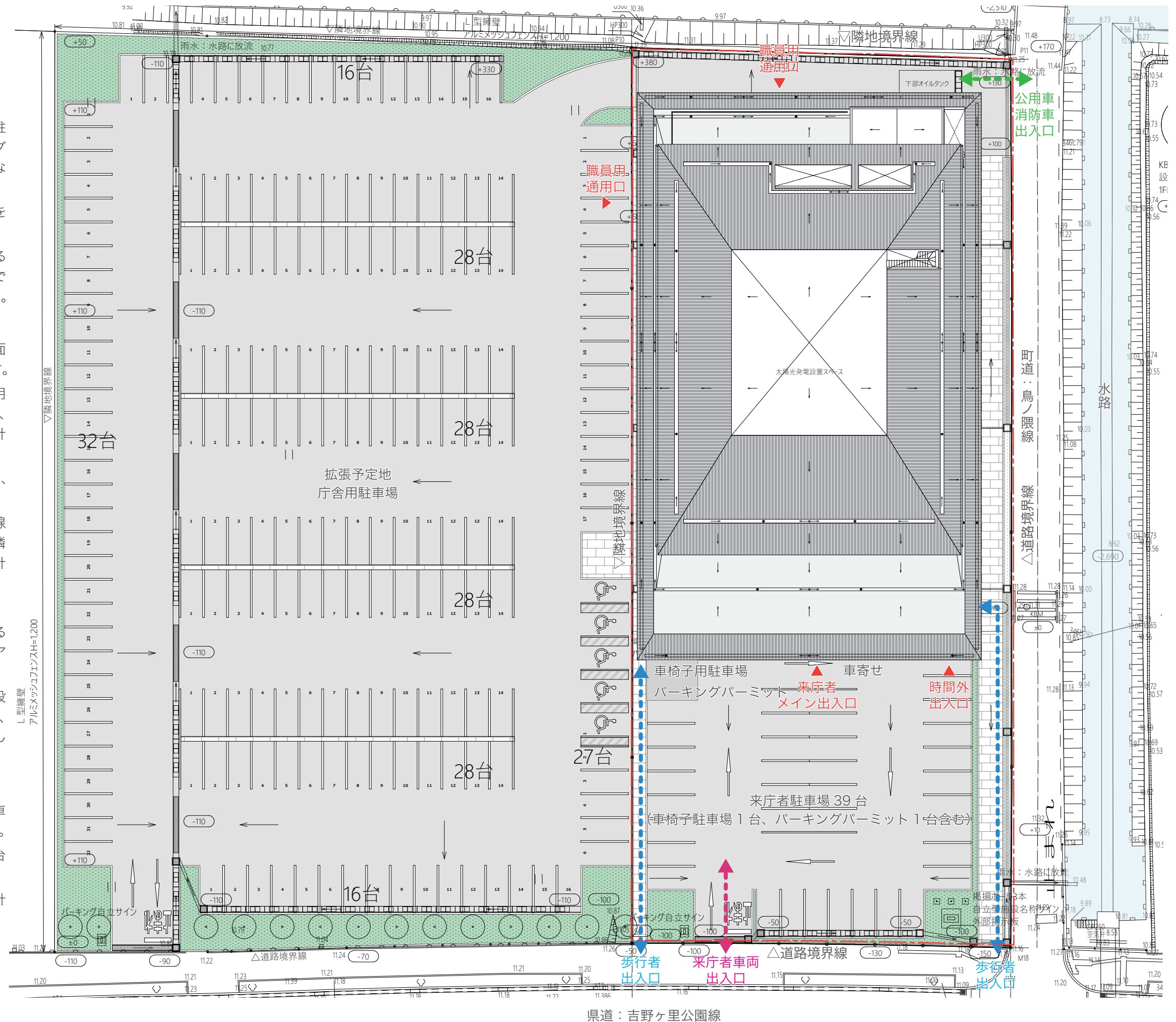
駐車場・駐輪場計画

- ・敷地南側に来庁者駐車場37台、車椅子用駐車場1台、パーキングパーミット1台を計画します。
- ・敷地北側に公用車駐車場7台、消防車車庫1台分を計画します。
- ・来庁者用メイン出入口近くに駐輪場5台分を計画します。



<凡例>

- > 歩行者
- > 来庁者車両
- > 公用車車両



県道：吉野ヶ里公園線

1F

1階平面計画基本方針

- ・町民の利用頻度の高い住民課/福祉課/こども・保健課の窓口を1階に集約し計画します。
- ・地域の方も利用可能なよしのがりホールをメインアプローチとなる南側の県道に面して配置し、明確なセキュリティ区画によって気軽に利用可能な計画とします。
- ・来庁者と職員が共用利用可能な多目的室をよしのがりホールに面して配置し、移動間仕切りの開閉によって、確定申告や期日前投票等、様々な用途に対応可能な計画とします。
- ・バックヤードを北側に集約し、来庁者と職員の動線を明確に分離した効率的な計画とします。

① よしのがりホール

町民が利用可能な地域に開かれたラウンジ・展示コーナー。

② 多目的室

町民が気軽に利用でき、移動間仕切壁の開閉によって、確定申告や期日前投票など多目的に利用可能な計画。

③ 町民窓口

町民利用の多い窓口部門を集約し、町民生活に関わる主な手続きはワンフロアで完結可能な計画。

④ 待合ホール

十分な広さの待合スペースを確保し、車椅子やベビーカー利用者でも快適に利用可能なゆとりのある計画。

⑤ 相談室

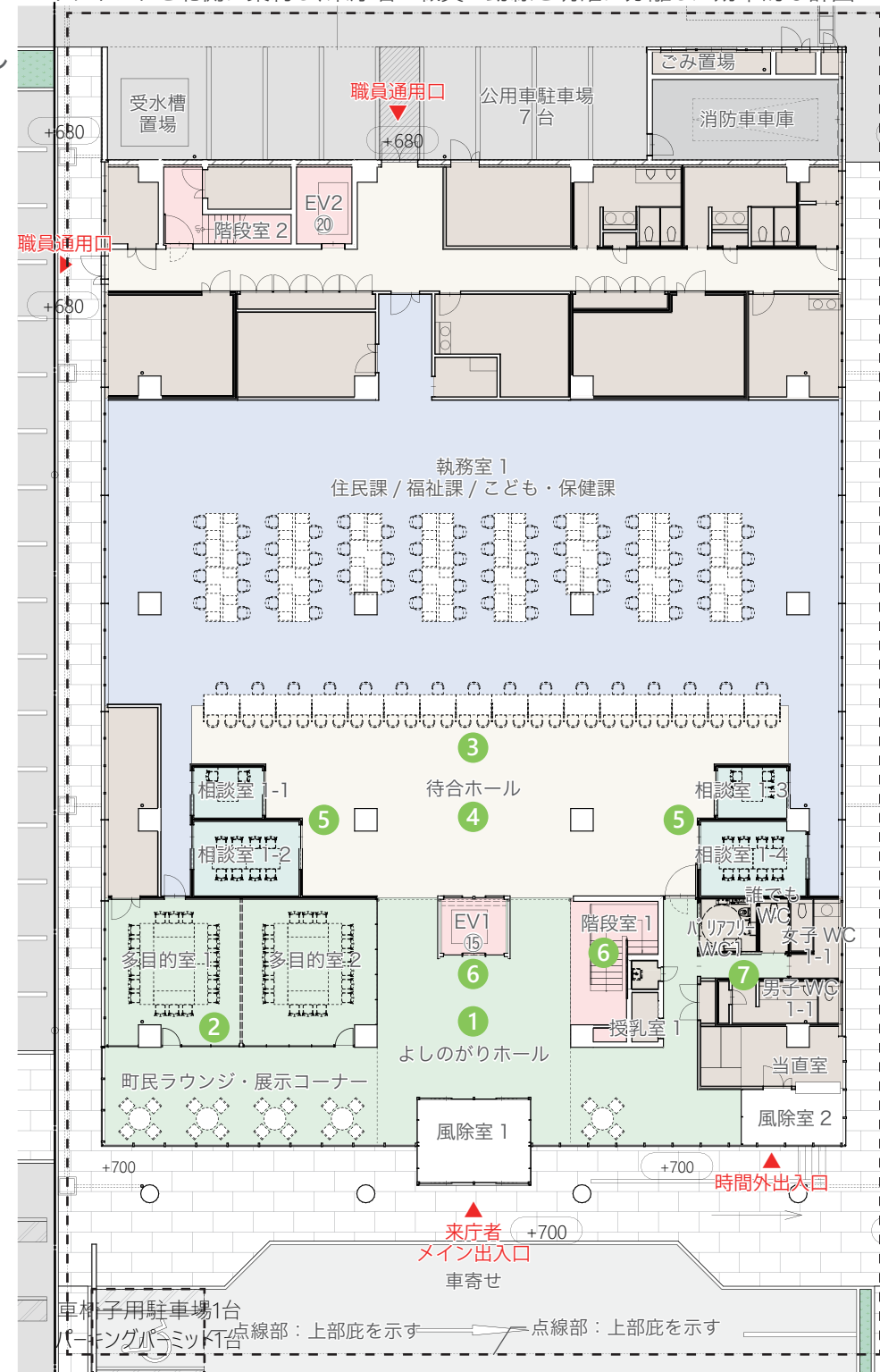
来庁者が安心して利用できるようにプライバシーに配慮し、個室の相談室を計画。

⑥ EV・階段

上階へのアクセス性に配慮し、メイン出入口からわかりやすい位置にエレベーターと階段を設置。

⑦ トイレ・授乳室

バリアフリートイレや誰でもトイレ、授乳室を設け、誰もが安心して利用できるユニバーサルデザイン。



2F

2階平面計画基本方針

- ・専門性の高い税務課/会計課/財政協働課/企画調整課/まち未来課/商工観光課/総務課を配置します。
- ・移動間仕切壁の開閉により、用途に応じ多目的に利用可能な会議室を設けます。
- ・町長室、副町長室、災害対策室を集約配置し、災害時に迅速に災害対策本部へと機能転換可能な計画とします。
- ・水害対策として、サーバー室、発電機室を上階に配置します。

① 執務室

専門性の高い部署を2階に配置した効率的かつ機能的なレイアウト計画。

② 町長室・副町長室

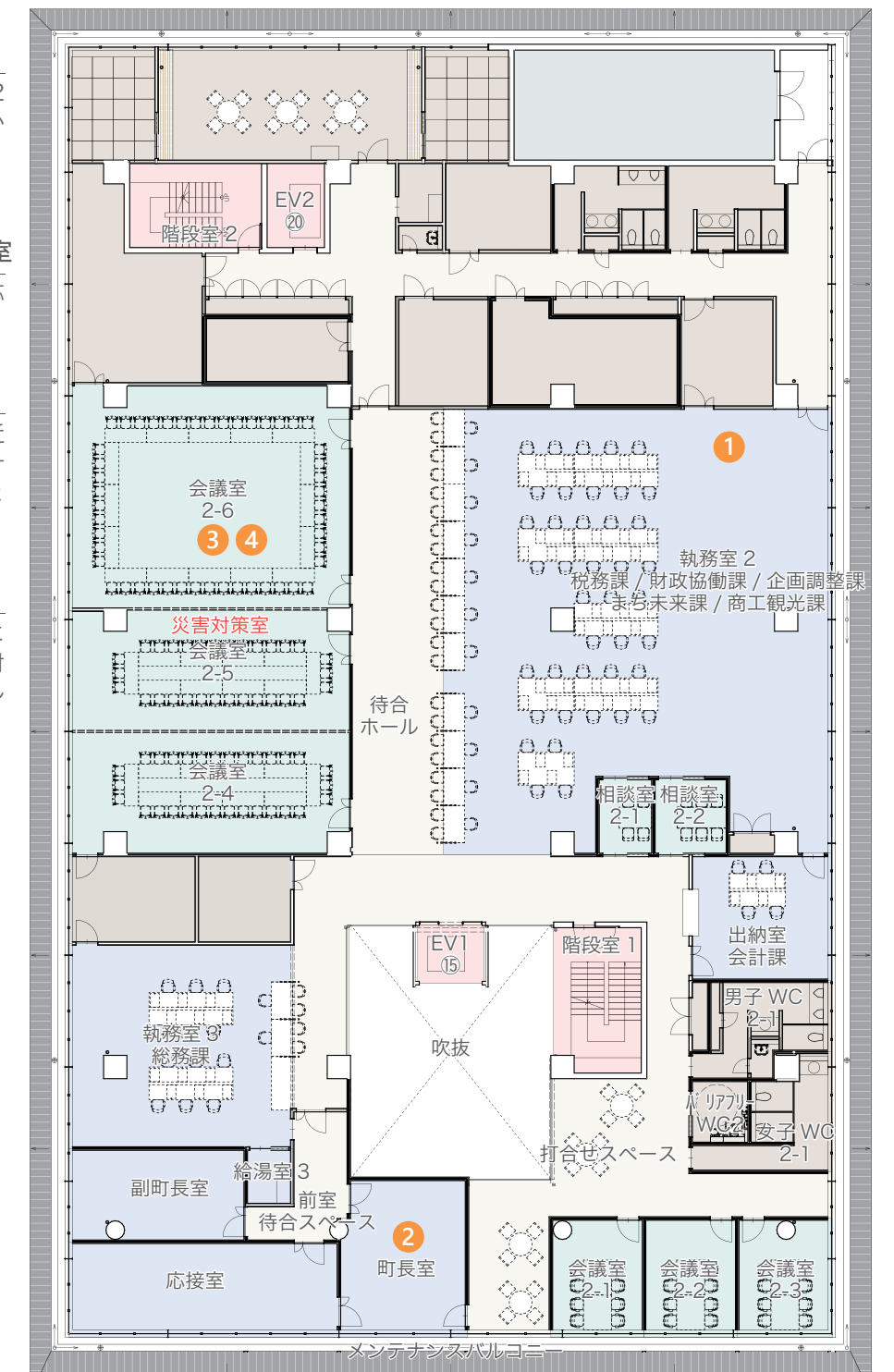
町長室・副町長室・応接室を隣接して配置。

③ 災害対策室

町長室・副町長室に近接して災害対策室を計画。日常時は会議室として利用可能。

④ 会議室

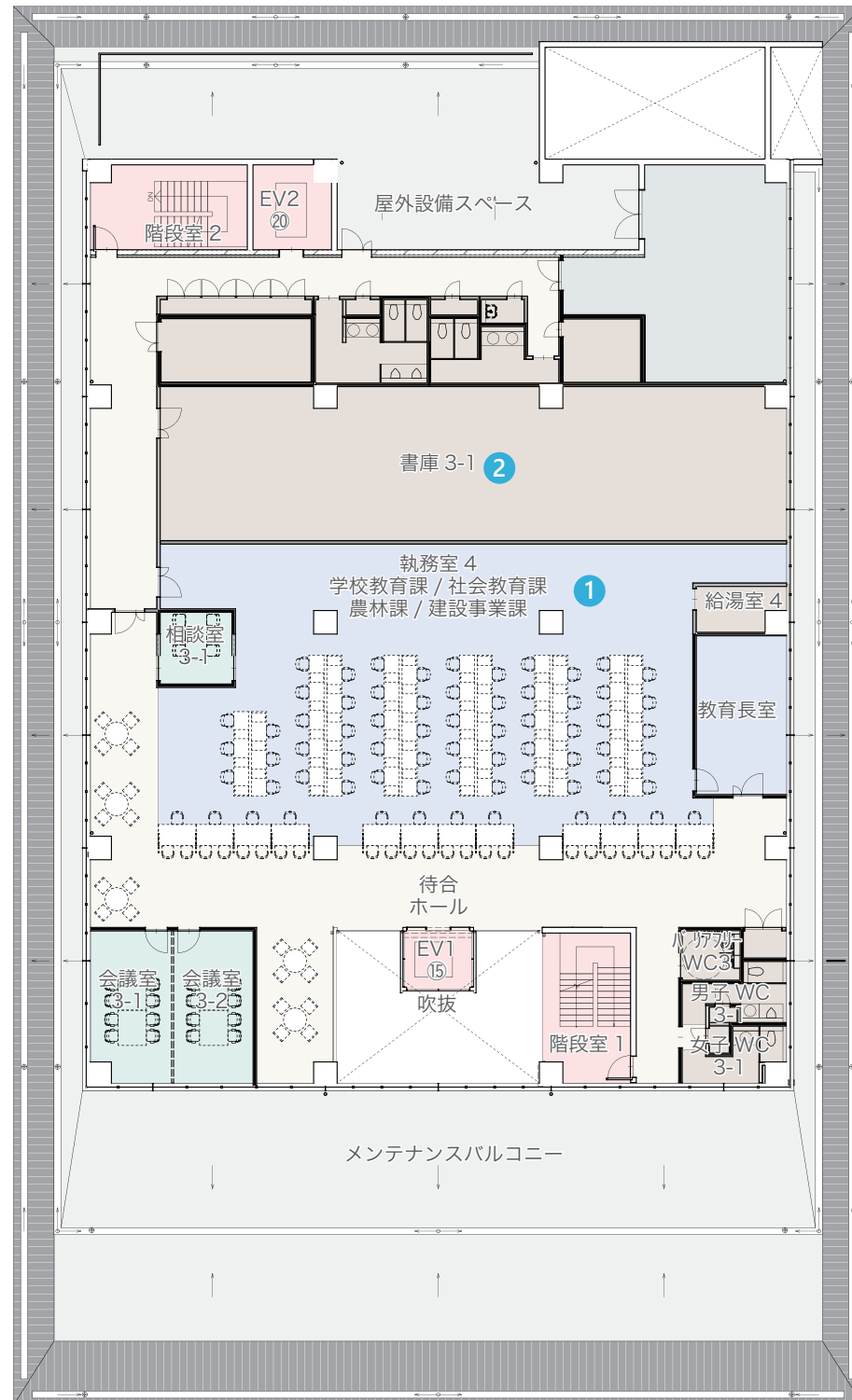
移動間仕切壁の開閉によって様々な用途に対応可能なフレキシブルな計画。



3F

3階平面計画基本方針

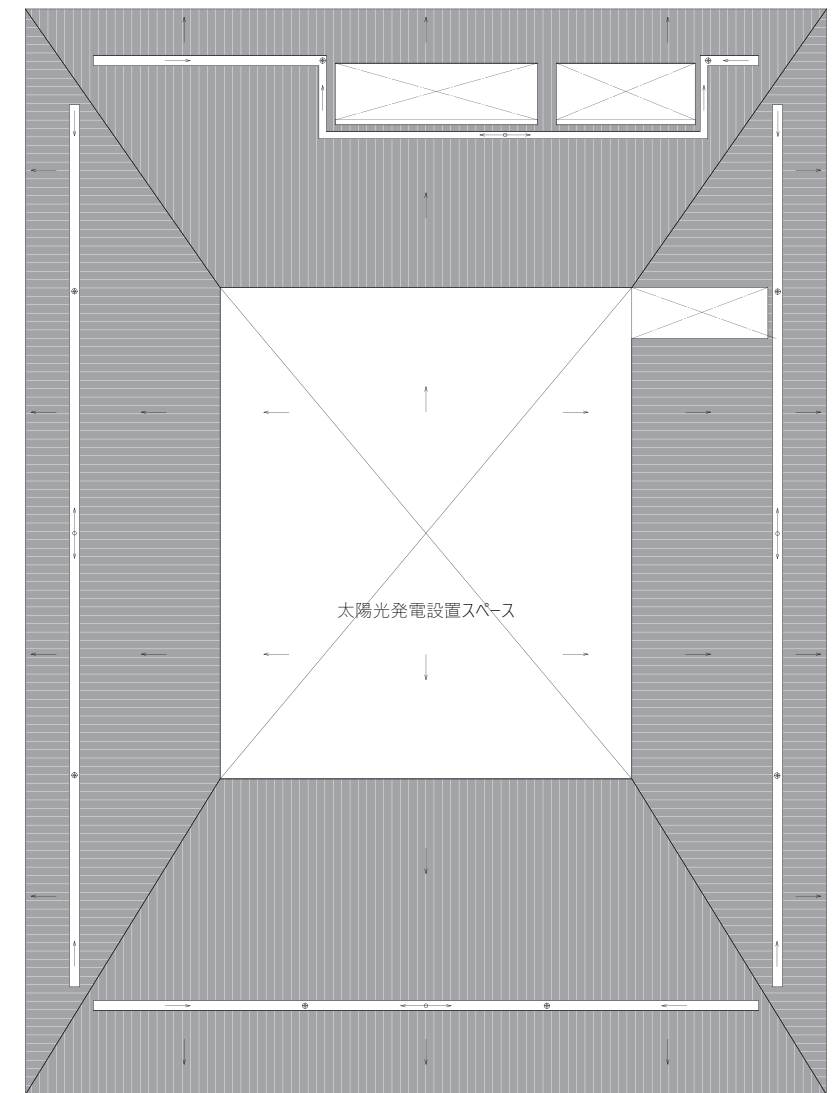
- ・専門性の高い学校教育課/社会教育課/農林課/建設事業課を配置します。
- ・水害対策として、電気室を上階に配置します。
- ・書庫を集約配置し、集密書架を設置することで効率的な収納計画とします。



4F

4階平面計画基本方針

- ・独立性を確保するため、議会エリアを集約して配置します。
- ・誰もが利用しやすい開かれた議会を目指し、スロープの設置など車椅子やベビーカー利用者に配慮した計画とします。
- ・明確なセキュリティ区画によって、安心して町民が気軽に利用でき、吉野ヶ里歴史公園を望むことができる展望ラウンジを計画します。



① 執務室

専門性の高い部署を3階に配置した効率的かつ機能的なレイアウト計画。

② 書庫

書類の電子化・ペーパーレス化を行い、文書管理による書庫を削減し、床面積の縮減を図る。

① 議場 / 傍聴席

車椅子利用者や親子連れ等、誰もが利用しやすい議会を目指し、スロープの設置等、バリアフリーに配慮した開かれた議会。

② 展望ラウンジ

吉野ヶ里歴史公園を望むことができる展望ラウンジを計画。

③ 共用会議室

議会の使用のない場合には町民も利用可能な共用の会議室。



吉野ヶ里の歴史を継承し 人と自然と文化を紡ぐ『吉野ヶ里ルーフ』

弥生時代から吉野ヶ里の人々が歩んできた歴史を未来へと紡ぎ、新たな歴史を積み重ね、未永く吉野ヶ里の人々に愛され地域に根付く庁舎となるように、外観には吉野ヶ里と深く関わりのある吉野ヶ里遺跡の主祭殿をモチーフとしたデザインを採用します。

主祭殿はかつてクニ全体の重要な事柄を決める政事を中心として機能し、吉野ヶ里の歴史を紡ぐ役割を果たしてきました。

吉野ヶ里の人と自然と文化を紡ぐ仕掛けとして、主祭殿の特徴である積層した形態をモチーフに各階に積層状の庇を設け、建物全体で立体的な大屋根『吉野ヶ里ルーフ』を計画します。立地環境、機能美、景観資源、地域特性に配慮し、親しみやすく町民の誇りとなる庁舎デザインとします。



※外装色はイメージです。

シンボル性

『吉野ヶ里ルーフ』は軽量の金属屋根と軒天の木ルーバーで構成し、外壁はコンクリート打放とします。長寿命施設として時の変化を見据え、自然素材を活用し、木と無彩色（黒）による色彩計画とすることで、経年変化によって施設としての趣を醸成し、歴史の継承を具現化する外装計画とします。

メンテナンス性

各階の外装周りにメンテナンスバルコニーを設け、日常的な外装の清掃や設備機器の更新・メンテナンスを容易とし維持管理のしやすい計画とします。直接雨掛かりとならない軒天には木ルーバーを設け、高耐候処理を施すことで耐久性・耐候性を向上させ、施設の長寿命化を図ります。

経済性

『吉野ヶ里ルーフ』は夏季の直射日光を遮蔽し空調負荷を低減するとともに、雨掛かりを抑制することで外装材の耐候性・防汚性を向上させ、維持管理費を低減します。メンテナンスバルコニーを設置することで、清掃や設備機器のメンテナンスの際の足場を不要とし、維持管理費を低減します。

地域特性

夏季の直射日光の遮蔽や雨掛かりの抑制により、吉野ヶ里の温暖多雨な気候風土に適した『吉野ヶ里ルーフ』は施設の長寿命化に寄与します。積層状の『吉野ヶ里ルーフ』は脊振山の稜線と調和し、吉野ヶ里の原風景を想起する情緒ある牧歌的な景観を形成します。

環境配慮

軒天には木ルーバーを活用することで、温かみのある景観を形成し、町民が親しみやすく、安心して来庁しやすい雰囲気形成します。軒天の木ルーバーは設備配管やガラリ等の目隠しとしても機能し、景観に配慮したデザインとします。

4F

町民に開かれた議会エリア

- ・独立性を確保するため、議会エリアを集約して配置します。
- ・明確なセキュリティ区画によって、安心して町民が気軽に利用でき、吉野ヶ里歴史公園を望むことができる展望ラウンジを計画します。

3F

専門性の高い執務エリア

- ・専門性の高い学校教育課/社会教育課/農林課/建設事業課を配置します。
- ・水害対策として、電気室を上階に配置します。
- ・書庫を集約配置し、集密書架を設置することで効率的な収納計画とします。

2F

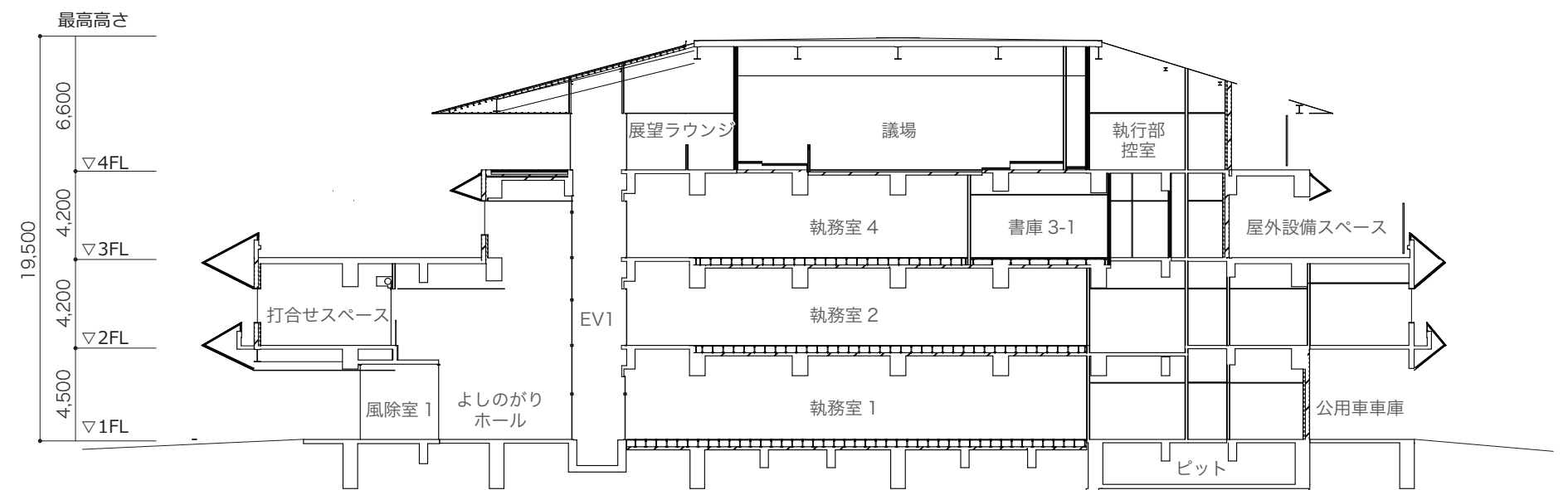
防災拠点エリアを集約した執務エリア

- ・専門性の高い税務課/会計課/財政協働課/企画調整課/まち未来課/商工観光課/総務課を配置します。
- ・町長室、副町長室、災害対策室を集約配置し、災害時に迅速に災害対策本部へと機能転換可能な計画とします。
- ・水害対策として、サーバー室、発電機室を上階に配置します。

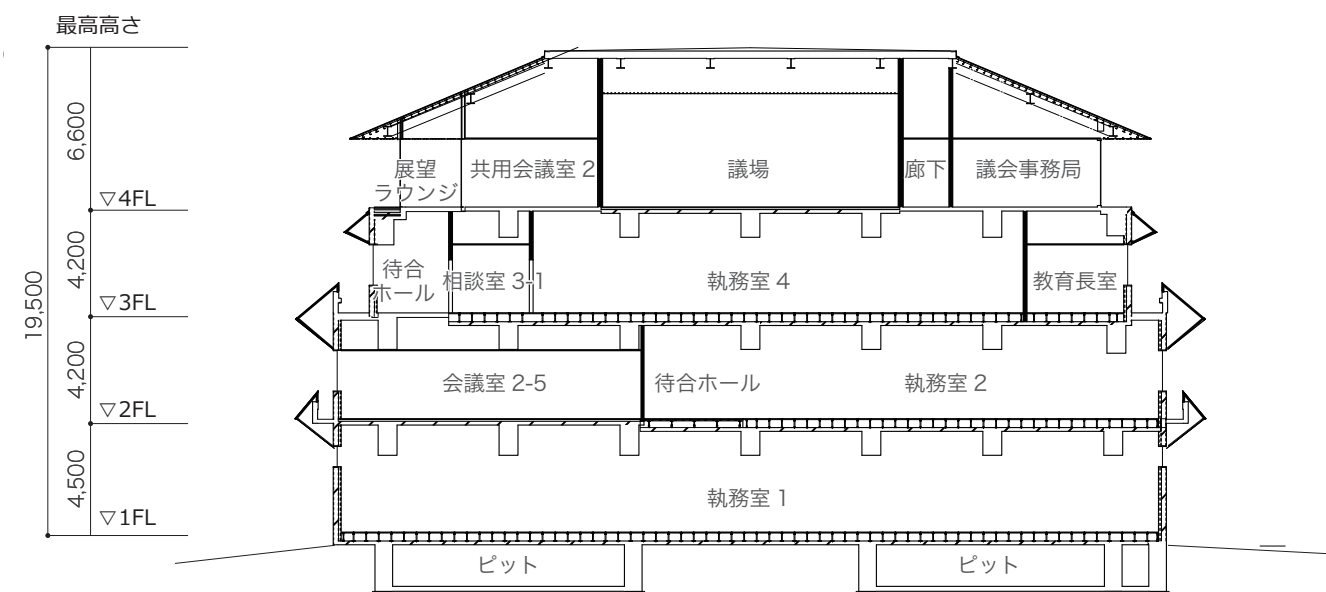
1F

町民開放エリアと町民窓口エリア

- ・町民の利用頻度の高い住民課/福祉課/こども・保健課の窓口を1階に集約し計画します。
- ・地域に開かれたよしのがりホールと多目的室を配置し、窓口エリアと明確にセキュリティ区画することによって気軽に利用可能な計画とします。
- ・多目的室は移動間仕切壁の開閉によって、確定申告や期日前投票等、様々な用途に対応可能な計画とします。



Y断面図 1/300



X断面図 1/300